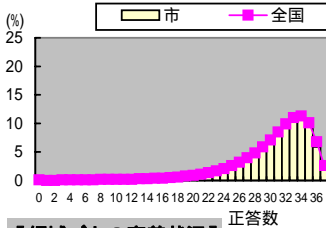


1 教科について

国語 A

全国平均 81.6 市平均 81.9
学校平均 83.5

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話す・聞く	90.1	90.4	91.6
書くこと	73.4	73.6	74.5
読むこと	80.6	80.8	84.7
言語事項	80.3	80.4	81.6

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	84.2	84.8	86.6
短答式	79.3	78.9	80.2
記述式	72.4	71.2	76.4

定着状況

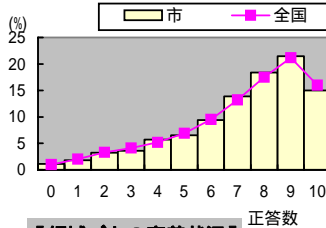
文章読解力や言語知識・技能の定着状況はすぐれている。

手紙の書き方、フォーマルな場での電話での対応等、経験の少ない事例での国語力の運用にやや定着不足が見られる。

国語 B

全国平均 72.0 市平均 72.0
学校平均 72.0

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話す・聞く	81.3	81.3	81.4
書くこと	64.4	64.4	58.4
読むこと	70.6	70.8	70.4
言語事項	68.5	68.7	72.4

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	79.3	79.3	80.3
短答式	63.5	64.4	69.3
記述式	64.4	64.4	58.4

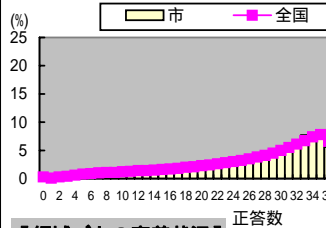
課題

国語への意欲・関心が全国平均よりやや低い。特に「書く」ことへの苦手意識や面倒だと感じている生徒があり、解答を始めからあきらめたり、途中で断念している。
 授業の中で身につけた知識や国語のテスト問題を解く力はよく定着しているが、日々の生活の中で、文章をどう書いたり、ことばをどのように話して伝えるかという実践力が不足している。

数学 A

全国平均 71.9 市平均 73.6
学校平均 76.4

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	74.4	76.6	80.8
図形	75.5	77.2	76.9
数量関係	65.9	66.9	71.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	70.9	71.6	72.9
短答式	73.0	75.6	80.1
記述式	-	-	-

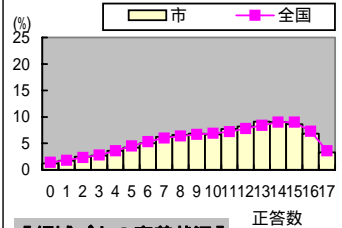
定着状況

数学Aについて
 計算問題やグラフの式を求めするなど、表現・処理の観点の正答率は高い。
 数学Bについて
 各領域とも全国平均に比べ高く、特に図形がよくできている。

数学 B

全国平均 60.6 市平均 60.6
学校平均 62.4

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	48.2	48.4	50.3
図形	53.1	52.0	58.2
数量関係	67.9	68.0	68.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	63.9	64.7	63.7
短答式	74.2	74.1	75.0
記述式	45.1	44.8	48.4

課題

「説明として正しいものを選ぶ」など数学的事象を言葉で説明する問題に課題がある。
 情報を読み取り、処理し、整理して、別の事象として解釈する力に課題がある。

2 意識調査について

(1) 生活・学習

- ・学校生活において楽しみにしている活動があり、少しぐらいの難しいことについて、失敗をおそれず、挑戦しようという姿勢が多く見られる。
- ・家庭では予習を中心に、学習をよくしている。また、家の手伝いも多くの生徒がしている。
- ・平日にゲームやインターネットをする時間が長い。
- ・自分が住んでいる地域に関心はあるが、地域の行事に参加する度合いが低い。
- ・清掃活動、困っている人への手助けへの意識が低い。

(2) 教科

【国語】

授業の中で、自分の考えを友人と恥ずかしがらずに意見交換できる雰囲気がよくできている。
 国語の力を将来役立つ学習だと思っている生徒の割合が低く、学校で学んだことを社会的場面でどう生かすかをつかめないようだ。

【数学】

「解答時間や問題は簡易だったか」については肯定的な意見が多い。
 数学に対する意欲や重要性の意識は低い。

3 確かな学力の定着と向上に関する研究目標

< 研究主題 > 「確かな学力を育む授業の創造」

研究の視点 ~ 「小グループによる学習活動」における効果的な学習課題を取り入れた授業の工夫を通して~

4 指導改善に向けた具体的な取組

国語

今までの教師主導伝達型の授業から、生徒同士の関わりを重視した小グループ活動を適宜取り入れ、自己表現を豊かにできる生徒を育てる。

数学

これまでの、「生徒が受け身になるような指導」を改善し、生徒自身がお互いに考えを共有し、交流し合える授業づくりを実践し、自ら学ぶという意欲を喚起させる。

生活・学習習慣等

- ・家庭での時間の有効的な使い方を指導していく。
- ・総合的な学習の時間などを通して、地域の活動について学習をすすめて、地域行事に参加することの意義を理解させる。
- ・道徳の授業及び日常生活指導の中で、清掃活動や福祉について考えさせ、実践できる態度を育てる。